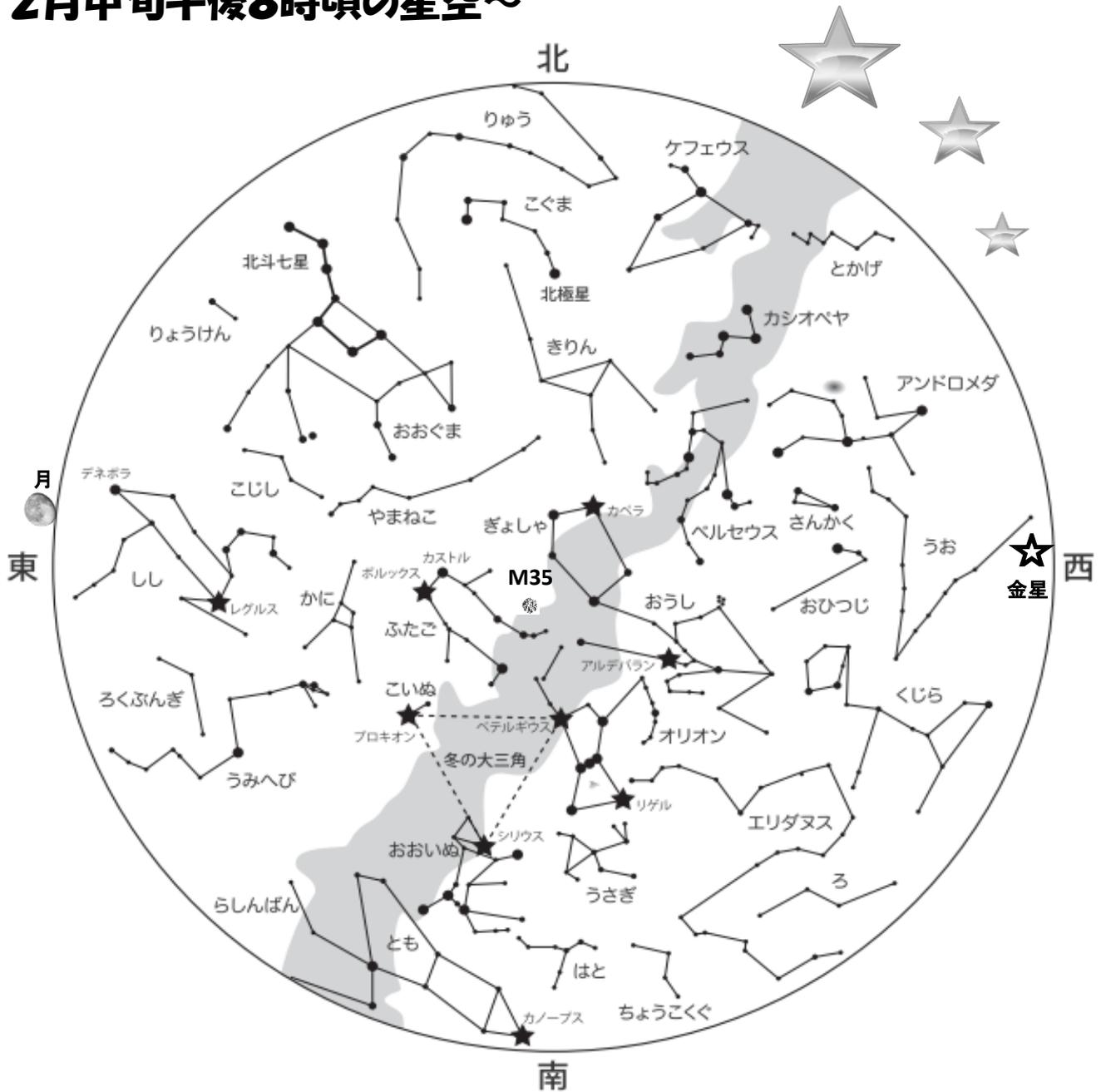


# 松江市立天文台～2月の天文教室～

令和2年2月12日

## 2月中旬午後8時頃の星空～



2月中旬になると夕暮れも段々遅くなって、春が近づいているのが感じられます。  
太陽が沈んだ少し暗くなった西の空には、「宵の明星」として金星が明るく輝いています。  
空には「ぎょしゃ座」や「おうし座」「オリオン座」「おおいぬ座」「こいぬ座」「ふたご座」など冬の星座を見つけることができますでしょう。

2月中旬午後8時頃の星空です。  
月、金星の位置は2月12日現在のものです。  
各天体の見かけの大きさは強調してあります。  
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

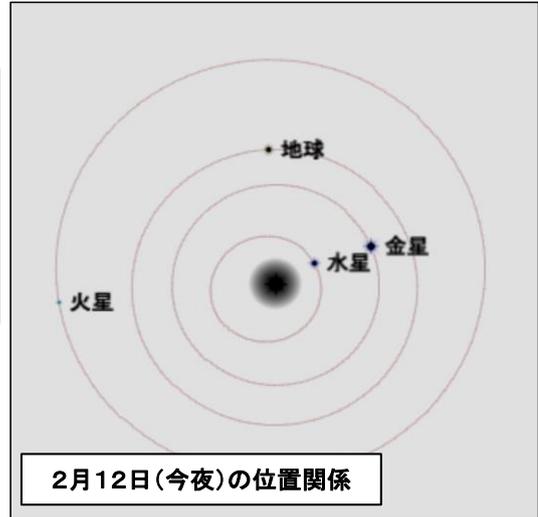
## 今夜の月

今夜の月は月齢18  
天文教室が終わる午後9時頃に、東の地平線から昇ってきます。  
小型の天体望遠鏡や双眼鏡でも表面の地形がわかります。

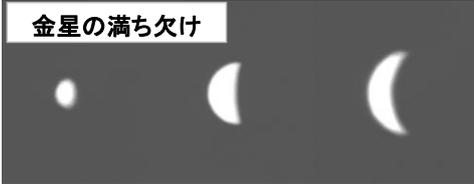


## 金星

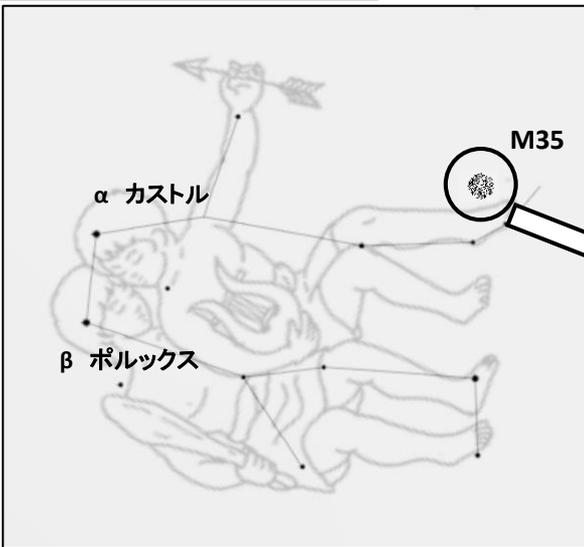
金星は地球より内側、太陽の近くを回る惑星です。  
今日のように夕方見える時は「宵の明星」、明け方見える時は「明けの明星」の名前で知られています。  
厚い雲におおわれて表面の様子は見えませんが、地球との位置関係で月のように満ち欠けが観察できます。  
今夜も天体望遠鏡で見ると、少し欠けているのがわかります。



金星の満ち欠け



## ふたご座とM35



ふたご座はその名の通り、ギリシャ神話に登場する双子の兄弟を表しており、兄弟の名前「カストル」と「ポルックス」がそれぞれα星とβ星に付けられています。

M35はふたご座にある散開星団で、2,570光年の距離にあります。小型の望遠鏡でもたくさんの星々が視野一杯に拡がって見えます。

- 空のコンディション(透明度・雲)等で、天体の見え方は違います。
- 使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆にみえることがあります。
- 天文のデータは主に天文年鑑から引用しています。
- 星図、写真等の引用元は次のとおりです。  
「国立天文台」、「ステラナビゲータ11/株式会社アストローツ」

## 次回の天文教室

開催日 3月11日(水) 20時から21時まで  
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)  
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会